

林経新聞

林経新聞社
〒460-0864
TEL 052(757)5833
FAX 052(757)5855
E-mail info@rinkel.jp
〒460-0864
TEL 06(6605)9165
FAX 06(6605)9166
〒582-2859
TEL 052(531)8628
FAX 052(531)8628
〒403-5875
TEL 03(5875)1201
FAX 03(5875)1202
WEB http://www.rinkel.jp/
©林経新聞社 2017

②面 先行き不透明、荷動き鈍化
③面 東京間風協組、市況調査委
④面 16年外資森林買収は29件



SSDプロジェクト「モイス」と併用で

紅中、パッケージ化し販売

熊本県上球磨地域の林業・木材関係者らで組織する国産材品質表示推進協議会・SSDプロジェクトは、このほど、「SSD球磨杉サイモサイディング(国産無垢外装用材)」で準耐火45分の大径認定を取得した。

「SSD球磨杉サイモサイディング(国産無垢外装用材)」は、球磨杉無垢材に越井木材工業㈱(大分市住之江区)が有するスーパースーモ処理(高温熱処理技術)を施し、高耐久性能と寸法安定性を備えた外装用材。今回、この「サイモサイディング」と、防火性能をもつアイカ工業㈱(愛知県瀬戸市)の「モイSTM耐力面材」をあわせて用いる

ここで、準耐火45分の大臣認定を取得した。認定仕様は木造在来軸組み工法の構造用外装面材に「モイSTM耐力面材(壁倍率2・5・3・8倍)を採用し、通気層を設けて「サイモサイディング」を縦張りする。断熱材には立方体当たり20mm以上のグラスウール・ロックウールの採用が必須。

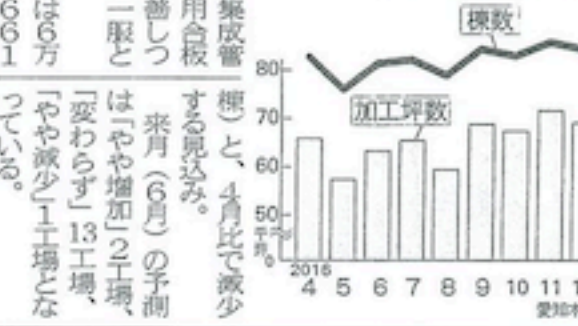
延べ床面積1000平方メートル程度の木造施設

愛知木造住宅プレカット協議会(真野徹司会長)がまとめた4月の木造住宅プレカット加工実績(16工場)は、6万6192坪(1770棟)と前年同月比で1.4%増、前月比では3.9%増だった。

1~4月の累計は24万219坪(6524棟)で前年同期比1.7%の微増となつてい

7%の微増となつてい。新年度に入つてプレカット工場の受注は一段落した。各工場とも前年とほぼ同量の加工量だが、変化しているのは受注の中身。これ

まで坪数の広い戸建てがリードしてきたが、最近では実需の一巡で規格住宅の仕事が中心となり「仕事はあつても利益が薄い」と各工場の担当者



アパート物件減で前年割れ

2×4住宅コンポ

東海2×4協賛資材高騰にも苦慮

4月加工実績

ネット会社で構成する東海2×4協議会(西長四郎会長)は、4月の加工実績は、パネル加工2622棟(1万1964坪)、定尺84坪(3305坪)、計11666棟(5万1269坪)で、前年同期比56棟の減少。4月は各社とも仕事量が少なく、売り上げも減っている。

頼みの綱だったアパート物件が減少し、分譲系も一服。介護関係の物件が多少出ていることで救われているという状況だ。一方で戸建て物件の見積もり依頼がやや増加しており、各社とも受注に悩んでいる。

資材が高騰してきたが、販売価格への転嫁は相変わらず難しく、各社は顧客へ理解を求める方針。たまたま値上げを切り出すと在来工法へと変更される事例が増えているなど、事業環境はますます厳しくなっている。

国内の横ばいも現地強含み

SPFディ先行き需要は不透明

今月上旬のカナダSPFディメンションパネルの輸入価格(CIF、1000BMM当たり)は、2×4、2×6、2×8の各アイテムが495、2×10が595で、前月と同値だった。

工戸数は前年同月比4.6%減の9116戸だった。内訳は持家2161戸、貸家5992戸、分譲1011戸など。持家、分譲は前年同月比でマイナスが続くなど先行きのディメンションパネルの需要は不透明感が強いが、4月に入つて関東近郊のパネル工場ではアクセス用材料

価格が上昇してきた。欧州ホワイトウッドの先行き価格が、船運費高騰の影響を受けて上がりそう。値上げは7月到着の製品からの見込み。船運費は立方体当たり約40%の大増となった。この傾向は少なくとも半年程度は続くと思

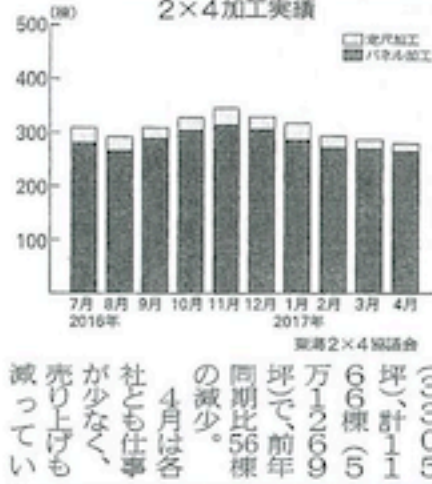
業界短信

公益財団法人日本住宅・木材技術センター(JOWTEC、古久保英嗣理事長)と木構造振興財団(東京都港区、西村勝美社長)は、林野庁補助事業「新たな木材需要創出総合プロジェクト」で、

エクスト事業のうち、CLTを活用した建築物などの実証事業」の助成対象者を募集している。締め切りは6月1日午後4時必着。

同事業ではCLTを活用した普及性や先駆性が高い建築物の設計・建築などの提案を募り、実証の過程で新たな発想を引き出すとともに、普及のための課題点やその解決方法を明らかにし、具体的な需要につなげることを目的としている。提案が採択された事業については、事業に要する経費の10分の3または2分の1を上限に助成する(来年2月末までに提案した事業を完了するもの)。

詳細は03-5653-7662へ。



4月の加工実績は、パネル加工2622棟(1万1964坪)、定尺84坪(3305坪)、計11666棟(5万1269坪)で、前年同期比56棟の減少。4月は各社とも仕事量が少なく、売り上げも減っている。

国内の横ばいも現地強含み

SPFディ先行き需要は不透明

今月上旬のカナダSPFディメンションパネルの輸入価格(CIF、1000BMM当たり)は、2×4、2×6、2×8の各アイテムが495、2×10が595で、前月と同値だった。

工戸数は前年同月比4.6%減の9116戸だった。内訳は持家2161戸、貸家5992戸、分譲1011戸など。持家、分譲は前年同月比でマイナスが続くなど先行きのディメンションパネルの需要は不透明感が強いが、4月に入つて関東近郊のパネル工場ではアクセス用材料

価格が上昇してきた。欧州ホワイトウッドの先行き価格が、船運費高騰の影響を受けて上がりそう。値上げは7月到着の製品からの見込み。船運費は立方体当たり約40%の大増となった。この傾向は少なくとも半年程度は続くと思

キノコを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社
www.daiken.jp/